SANO NIHON UNIVERSITY
SECONDARY SCHOOL

unesco
Member of the Associated Schools Network

We prepare for Cambridge English Qualifications

［広報］

わかざくら

WAKAZAKURA

vol.71

2026.3.2


5年イギリス研修旅行


生徒会役員認証式


出陣式


立志式




3年国内研修（奈良・京都）


予餞会


探究モデルロケット全国大会


1年国内研修（福島）


オーストラリアFW

目 次

卒業式式辞	P２
卒業生各賞受賞者	P３
研修旅行	P４
中等運動会・予餞会・立志式	P５
輝く仲間たち	P６

ホームページ・インスタグラムはこちら

SANICHI.SS.3987

佐野日本大学中等教育学校
栃木県佐野市石塚町2555 ☎ 0283-25-0111㈹
http://ss.sanonihon-u-h.ed.jp/

卒業式にあたって



若きサニチニアンへ「出会いを大切に」

校　長　舩渡川　重　幸

諸君が本校に入学したのは、2020年４月でした。社会全体が大きな不安と混乱の中にあった、忘れることのできない春でした。入学式の形も、学校生活の始まりも、決して「当たり前」ではありませんでした。突然の休校やそれに伴ってのオンライン授業、学校再開後も、生徒も先生もマスク越しのため、お互いの素顔を知らないままの生活が続き、距離を意識した生活を余儀なくされました。さらに楽しいはずの行事の縮小や中止が続くなど諸君の６年間の始まりは、常に「制限」と隣り合わせでした。

しかし、諸君は、与えられた現実から逃げることなく、真正面からがっぷり四つで向き合いました。「できない」と諦めるのではなく、「どうすればできるか」を考え、行動し続けてきました。まさに本校が大切にしてきた、「できるを重ねる６年間」を、諸君は自らの姿で示してくれました。本校のスクールポリシーは、「磨こう心」「輝く知性」「拓(ひら)こう未来」の３つでしたね。諸君がその３つをしっかり実践してきたと私は確信しています。もちろん、諸君の６年間は、決して平坦な道のりではなかったと思います。しかし、諸君はコロナを乗り越え、その後はそれぞれが自分の目標に向かって勉学に励み、充実した本校での生活を過ごして今ここに卒業を迎えることができました。私たち教職員は大変誇らしく、嬉しく思っています。そして、これまでの一つひとつの経験が、諸君の心を育て、思考力を鍛え、人としての軸を形づくってきました。これからの社会において、本校が大切にしてきた「自ら考え、判断し、行動する力」は、何よりも諸君を支える大きな力となるはずです。

さて、諸君がこれから進む社会は、正解のない、正解が一つとは限らない、答えが見えづらいことに満ちています。変化は激しく、思い通りにいかないことも多いでしょう。それでも、どうか恐れずに挑戦してください。失敗を避けることよりも、挑戦を通して学ぶことの方が、はるかに大きな価値を持ちます。そして、困難なときこそ、人とのつながりを大切にしてください。支え合い、認め合い、共に歩む姿勢が、諸君自身を、そして社会をより良い方向へ導いていきます。

そこで、私は卒業する諸君に、「出会いを大切に」という言葉を今日送ります。これから始まる新しいステージに立つ諸君は、これまで以上に多くの出会いを経験することでしょう。それは人との出会いに限りません。一冊の本、心を震わせる音楽、思わず息をのむ大自然の風景、一つの学問など様々な出会いがあります。そうした出会いの中には、諸君の魂や価値観を揺さぶり、進む道を変え、時には「このために生きたい」と思えるほど、人生をかけるような出会いがあるかもしれません。振り返ったとき、「あの出会いがあったから今の自分がある」と思えるものに、きっと巡り合うはずです。どうか、その一つひとつの出会いを大切にしてください。心が動いた瞬間を受け止め、深く向き合ってください。忙しさや効率、損か得かの中で気が付かずに通り過ぎてしまえば、二度と戻らない出会いもあります。そんな「出会いのすれ違い」を起こさないように心してアンテナを張ることを忘れないでください。人であれ、物であれ、経験であれ、諸君の人生を照らす出会いは、思いがけないところに待っています。それが、諸君自身を成長させ、やがて光輝く未来を拓く力となります。諸君にとってこれから歩む道が、かけがえのない出会いに満ちたものとなることを、心から願っています。

最後に、卒業生諸君。皆さんはこれからも佐日中等の卒業生、佐日共同体の一員としてのサニチニアンです。いよいよこの佐野日本大学中等教育学校を去りますが、それはひとまず佐野日大を去ることであって、佐野日大は生涯「心の故郷」です。懐かしく思い出された時、辛く苦しい時、悲しいとき、嬉しい時、いつでも帰って来てください。どんな時でも母校は諸君を待っています。諸君の、これからのご活躍とご発展を心より祈念して、式辞といたします。

卒業生諸君、さようなら。サニチニアン頑張れ。そして卒業おめでとう。

令和７年度　卒業生 各賞受賞者

総代・日本大学学長賞(学業部門)



本庄　与冴
（足利・山辺小）

佐野日本大学学園理事長賞



岡田　栞音
（足利・三重小）



神山　美優
（佐野・犬伏東小）

佐野日本大学中等教育学校校長賞



田村　嘉偉
（伊勢崎・宮郷第二小）



花澤　憂衣
（佐野・旗川小）

日本私立中学高等学校連合会会長賞



鈴木　茜
（佐野・城北小）

三か年皆勤賞

本庄　与冴*
秋山　暖希（香港日本人学校大埔校）
稲葉　諒*（佐野・赤見小）
岩田昊司朗*（加須・樋遣小）
林　遥樹*（栃木・岩舟小）
＊は六か年皆勤

三か年精勤賞

曽我　美琴（久喜・久喜東小）
神山　美優
小堀　夏希（大泉・北小）
齊藤　綾香（栃木・栃木第四小）
片柳　那望（館林・第二小）
小林　真奈（古河・下大野小）
山家　雅史（小山・乙女小）
須永　宗真（足利・御厨小）

栃木県高等学校文化連盟賞

渡邊　麗奈（松戸・横須賀小）

栃木県合唱連盟賞

人見　香音（佐野・犬伏東小）
曽我　美琴

部活動功労賞

合唱部
南川　杏佳（館林・第一小）
曽我　美琴
人見　香音
齊藤　綾香
武藤　都朱（佐野・界小）
髙橋　美羽（佐野・氷室小）
書道同好会
神山　美優
吹奏楽部
渡邊　麗奈

部活動努力賞

ソフトテニス部
亀田　悠馬（佐野・佐野小）
本庄　与冴
剣道部
岡田　栞音
男子バスケットボール部
石嶋　啓佑（結城・結城小）
岡田福次郎（邑楽・長柄小）
亀山　直人（佐野・犬伏小）
本庄　与冴
三神　秀郷（佐野・天明小）
藤原　郁士（館林・第九小）
井川　和也（江戸川・第三松江小）
横田倖之介（館林・第一小）
軟式野球部
横田　周（佐野・田沼小）
サッカー部
中村進大朗（壬生・壬生北小）
管弦楽部
守田　詩音（野木・新橋小）
小堀　夏希
山中　星乃（伊勢崎・宮郷第二小）
数学研究同好会
田村　嘉偉
尾林　匠（太田・駒形小）
岩田昊司朗
山中　星乃
美術部
金　那珠（古河・古河第七小）
冨田　穂香（羽生・羽生南小）
小林　真奈

感　謝　状

生徒会
岡田　栞音
南川　杏佳
田村　嘉偉
宮崎　高虎（栃木・栃木中央小）
高荒　俊太（館林・美園小）

学校後援会表彰

書道同好会
神山　美優

浦田教育基金　学園創立60周年記念事業募金

本学園では、浦田教育基金並びに、学園創立60周年記念事業募金のご協力をお願いしております。皆様からお寄せいただきましたご厚意は、生徒学生の奨学金及び、本学園の教育・施設設備等に活用させていただきます。今後とも、本学園へのより一層のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

～ご寄付賜りました法人様・団体様～

池田敦子学習教室、石井インテリア、有限会社神永写真館、篠崎木工株式会社、株式会社川田サッシ工業、有限会社むらの、初谷建設株式会社、昭和電機株式会社、株式会社ハクエイエンタープライズ、株式会社娘屋、関東自動車株式会社、株式会社永沢緑花苑、社会保険労務士法人田村社労士事務所、有限会社オクサワ商会　〈令和7年3月～令和8年1月〉

なお、個人の皆様からも多数のご寄付をお預かりいたしましたが、ご芳名の掲載は控えさせていただきます。

Up to date　さらなる高みへ～研修旅行

学年研修

秋から冬へ学年での研修旅行が実施された。学校とは異なる環境で友達と協力し、朝から晩まで一緒に過ごすことで、互いの絆をさらに深めた。多くの学びを得た研修旅行となった。

9月10日(水)～12日(金)
国内研修旅行（福島）

トレッキングやカヤック、飯盒炊さんなどを通して、仲間との協力の大切さを学んだ。

1年



3年



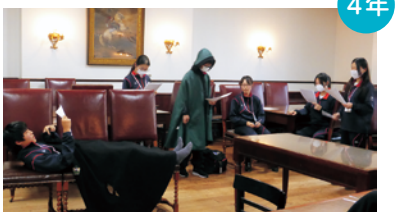
10月30日(木)～11月１日(土)
国内研修旅行（奈良・京都）

東大寺や北野天満宮などを見学し、班別自主研修を行った。

11月26日(水)～28日(金)
ブリティッシュヒルズ研修(福島)

外国人スタッフとのさまざまなアクティビティによる授業で、楽しみながら語学力を磨くことができた。

4年



海外研修 ほか

今年度も多種多様な形で海外研修が行われた。現地の方々との触れ合いやさまざまな体験を通して、新たな気づきや視点を得られ、自分の成長を実感した研修となった。これらの海外研修の他にも、本校に海外からの生徒を受け入れるなどの活動も行った。



9月12日(金)～17日(水)
オーストラリア FW

ケアンズやグリーン島の観光、オーストラリア姉妹校訪問や現地の人々との交流会を通してさまざまな経験を重ねた。



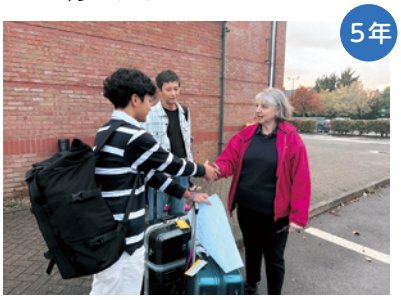
12月13日(土)～21日(日)
ハンガリー姉妹校訪問

ウィーン観光・歌劇鑑賞、姉妹校フンファルビ高校の生徒宅でのホームステイ、ブダペスト観光など盛りだくさんの日程を満喫した。

A班　10月17日(金)～24日(金)
B班　10月19日(日)～26日(日)
海外研修旅行（イギリス）

シェイクスピアも学んだ名門キング・エドワード６世校での授業やロイヤルシェイクスピア劇場での観劇、班別自主研修などを行った。

5年



5年



現地でのホームステイや班別自主研修などを通して、文化や風習の違いを目の当たりにし、視野を広げることができた。これまでの体験授業の集大成となるすばらしい研修となった。

本校ではこのような体験学習を毎年実施しています。特にさまざまな地域への海外研修をはじめとしたグローバル教育に力を入れており、生徒の語学力アップだけでなく、一人ひとりの視野を広げ、世界を意識した発想力の基礎を築いていきます。

中等運動会

９月 27 日（土）、スタジアム 30 で中等運動会が開催された。今年度はオーストラリア姉妹校の生徒も参加した。生徒たちは競技に係に奔走し、忙しいながらも笑顔がこぼれる楽しい行事となった。



予餞会―卒業生を送る

12 月 17 日（水）、予餞会が中等体育館で開催された。生徒が一堂に会しての予餞会に、送られる６年生は感激していた。ダンスやバンド演奏、寸劇や合唱など、在校生や教職員が準備した心のこもった出し物が次々と行われ、楽しい会となった。









がん教育講演会

１月 21 日（水）、３・４年生を対象としたがん教育講演会が、医師の和田真弘先生を講師にお招きし、プラザ 40 で行われた。がんに対する誤った知識をなくし、自分のみならず他人の心と命を大切にしようとする姿勢を育んだ。



芸術鑑賞会

11 月 21 日（金）、プラザ 40 で日本大学管弦団の皆様をお招きして演奏会が開かれた。本校管弦楽部の生徒も演奏に参加する場面があった。



立　志　式

２月７日（土）、２年生の立志式が行われた。古来の元服が 14 歳くらいであったことに由来し、自分の将来に思いを馳せ、志を新たにする行事となっている。代表として斉藤暖人さん（邑楽・中野小）が誓いの言葉を堂々と述べた。来年度から始まるセカンドステージでの成長に期待したい。





輝く仲間たち

空手　高野仁杏さん　全国大会出場決定

２年生の高野仁杏さん（足利・けやき小）が第 20 回全国中学生空手道選抜大会県予選個人組手で第4位入賞、3月 27 日（金）～ 29 日（日）に京都の亀岡運動公園体育館で行われる JOC ジュニアオリンピックカップ兼第 20 回全国中学生空手道選抜大会出場が決まった。大会での活躍を期待したい。



個人フルーレの部第２位！

５年生の仙田一真さん（栃木・小野寺小）が 11 月７日（金）に行われた栃木県高等学校フェンシング新人大会男子フルーレ個人対抗の部において、第２位に輝いた。



半紙の部　準大賞　横田樹音さん

第 27 回栃木県学校教育書写書道展において、３年生の横田樹音さん（館林・第一小）が準大賞に輝いた。これは、県下で各部に各学年１名ずつ選出される大賞に次ぐ第２位相当の賞。横田さんは「晴耕雨読」を生き生きとした筆致で著した。なお、神山実穂さん（４年・栃木・栃木中央小）が特賞を受賞した。

栃木県予選会　準優勝　和太鼓部

10 月 26 日（日）に行われた第 28 回日本太鼓ジュニアコンクール栃木県予選会において、和太鼓部が見事な演奏を披露し、準優勝に輝き、全関東大会に出場した。よりよい演奏を目指して、仲間たちと切磋琢磨し、日々練習に汗を流した努力が結実した。

令和７年度税に関する作品

作文の部　佐野税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞
式町　朱里（３年・足利・けやき小）
水野　陽花（３年・小山・小山第一小）
標語の部　佐野農業協同組合　代表理事組合長賞
山本　楓（２年・佐野・犬伏小）
ポスターの部　佐野小売酒販組合理事長賞
加藤　紗良（３年・太田・太田小）

環境省／３R資源循環推進フォーラム主催３R促進ポスターコンクール

佳作　赤松　佑紀（１年・鴻巣・屈巣小）

人権に関する作品　イラスト

最優秀賞　柿木　萌衣（３年・太田・北の杜学園小）
優 秀 賞　赤松　佑紀
宇津木　舞（３年・大泉・北小）

明るい選挙啓発ポスターコンクール栃木県審査

佳作　大滝　寛人（１年・ぐんま国際アカデミー初等部）

中学生人権作文コンテスト栃木県大会

優良賞　臼井　舞海（３年・小山・小山城北小）

ＪＡ共済県下小・中学生第 54 回交通安全ポスターコンクール

銅賞　寺田　梢（３年・下野・南河内小）
佳作　藤澤　杏梨（１年・太田・城西小）

日本大学付属高等学校等第 44 回英語スピーチコンテスト

第７位　赤堀　伊織（４年・ぐんま国際アカデミー初等部）

日本大学付属高等学校等第 42 回文芸コンクール

読書感想文の部　入選
齊藤　綾香（６年・栃木・栃木第四小）

第 51 回「小さな親切」作文・標語コンクール

作文の部　優良賞　鈴木　崇史（１年・佐野・佐野小）
板橋　茉愛（１年・太田・城西小）
樋下田莉帆（２年・佐野・犬伏小）

第 58 回下野教育書道展

金賞　山本　楓
銅賞　荒川　拓真（１年・栃木・吹上小）
黒須　渚奈（２年・羽生・羽生南小）
水野　陽花　横田　樹音
神山　実穂

第 62 回全日本書初め大展覧会

席書の部
日本武道館賞　横田　樹音
公募の部
日本武道館賞　横田　樹音
特　選　神山　実穂

ＪＡ共済県下小・中学生第 69 回書道コンクール

条幅の部　銀賞　横田　樹音

第 33 回栃木県ヴォーカルアンサンブルコンテスト

銀賞　合唱部

編集後記

冬季五輪のフィギュアスケートペア種目で三浦・木原ペアが前日の５位から見事逆転の金メダルを獲得した。ノーミスの演技で世界歴代最高点。木原選手がペアに転向してから実に 13 年もの長きにわたる努力と、挫折を越えた挑戦の末の、日本ペア史上初の五輪金メダル。快挙である。
本日、巣立ちの日を迎える皆さんも、この先の人生でも努力と挑戦を重ね、さらに成長を続けてほしい。そしてその姿を恩師にぜひ見せてください。ご卒業おめでとうございます。（長谷川　記）

広報 わかざくら　VOL.71
佐野日本大学中等教育学校　栃木県佐野市石塚町2555
☎0283-25-0111 ㈹　https://ss.sano-nichidai.jp/